

化学工学会 第 50 回秋季大会  
部会横断型シンポジウム<都市鉱山リサイクルに向けてのアプローチ> 報告書

オーガナイザー

大島 達也(宮崎大学)

大渡 啓介(佐賀大学)

村山 憲弘(関西大学)

中井 智司(広島大学)

後藤健彦(広島大学)(文責)

2018 年 9 月 18～20 日に鹿児島大学で開催された化学工学会第 50 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 19 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 18 日 9:00～17:20 19 件(展望講演 1 件、依頼講演 4 件を含む)
会場	鹿児島大学郡元キャンパス
聴講者数	55 名
展望講演	『都市鉱山開発活性化への道』原田 幸明氏(NIMS)
依頼講演	『貴金属リサイクルの最近の動向』奥田晃彦氏(田中貴金属工業株式会社) 『合わせガラス型太陽電池の低コスト分解処理技術』原田秀樹氏(ソーラーフロンティア) 『使用済み超硬工具からの新規タングステン回収システムの開発』荻崇氏(広島大学) 『アンチモンに選択性を有する吸着分離剤の開発』尾形剛志氏(産総研)

その他:分離プロセス部会、環境部会、材料界面部会の部会横断型シンポジウムである。今後も材料、界面の応用を考える上で、このような他部会との共催シンポジウムは有益である。

会場に多くの参加者が集まり、賑わった。金属分離回収・利活用に関わる研究者が集まり、部会横断型シンポジウムとしても有意義だった。(宮崎大学:大島達也)

以上